

“名”は“体”を表す？

朝から降り続いていた小雨がようやく上がり、「志野の道」を歩いていると、「妖精」のような、はたまた「ビン洗いブラシ」が逆さに立っているかのような姿をした、真っ白い花をあちらこちらで見つけました。日当たりのあまりよくない薄暗い散策路沿いに、ずらりと並んで咲いている箇所もあり、その光景は圧巻です。

名前はその姿通りで「シライトソウ」といいます。漢字で書くと「白糸草」。ユリの仲間です。学名は、「Chionographis japonica」。ギリシャ語でchionは“雪”、graphelは“筆”という意味です。雪のような白い花がたくさん付いて全体が筆のような形になっていることからこの学名が付いたのでしょう。japonicaは、“日本の”という意味です。

筆者は、「雪の筆」よりも「白糸草」の方が日本的で、この花にピッタリだと思いますがあなたはどう思いますか？ また、白い“妖精”それとも“ビン洗いブラシ”のどちらに見えますか？

ぜひ陶史の森に来て、あなたの目で実物をじっくり見て判断してみてください。



森の日記

ギフチョウ観察会

4月5日(日)

あいにくの空模様でしたが、約20人の皆さんが「春の女神」といわれるギフチョウを間近で観察しました。

ネイチャーセンターではこの日のために、25頭のギフチョウを羽化させ、参加者の皆さんに披露しました。これだけの数のギフチョウが目の前で花の蜜を吸っている様子を観察したり、また、手のひらに乗せたりすることは、自然界ではなかなかできません。

会場には、参加した家族連れやアマチュアカメラマン達の歓声やシャッター音が、いつまでも響き渡りました。



教室のご案内

6月

ミツバチ教室 (既に定員に達しました※)

6月14日(日) 午前9時～11時30分
蜂蜜搾りを体験し、味わいます。

※定員に達しましたが見学は自由です。

夏の天体教室 (要申込・定員20人)

6月27日(土) 午後7時30分～8時30分
土星と月のクレーターを観察します。

バードウォッチング (自由参加、雨天中止)

6月28日(日) 午前9時～11時30分
初夏の野鳥を観察します。

7月

草花標本づくり教室 (自由参加)

7月5日(日) 午前9時～11時30分
植物を観察・採集して標本を作ります。

バードウォッチング (自由参加、雨天中止)

7月26日(日) 午前9時～11時30分
夏の野鳥を観察します。

ネイチャーセンターでは、希望する方に双眼鏡や野鳥図鑑を貸し出しています。気軽に声を掛けてください。

